

令和2年7月28日
学長選考会議

令和元年度の学長の業務執行状況の確認について

学長選考会議は、国立大学法人岡山大学学長選考会議規則第3条の2に規定する学長の業務執行状況を確認したので、その結果を公表する。

1 確認の経過

- (1) 第7回学長選考会議（令和2年3月23日開催）において、令和元年度学長の業務執行状況の確認の日程について決定した。
- (2) 第8回学長選考会議（令和2年6月24日開催）において、次の資料及び学長へのヒアリング、監事からの意見聴取に基づき確認を行った。
 - ・令和元年度「学長業務執行状況報告書・確認表」
 - ・令和元年度学長業務執行状況報告プレゼンテーション資料

2 学長選考会議構成員（各五十音順）

経営協議会学外委員

糸 島 達 也
梶 谷 俊 介
門 野 八洲雄
小 林 裕 彦
松 田 正 己

教育研究評議会評議員

阿 部 匡 伸
大 塚 愛 二
釣 雅 雄
中 塚 幹 也
舟 橋 弘 晃

3 令和元年度学長業務執行状況の確認結果

以下のことから、学長選考会議は、学長の業務執行状況は適正であることを確認した。

- ・SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）を学内共通の達成指標としてきた成果をもとに、SDGs推進研究大学としての大学経営によって、他の大学との差別化を図り、国内外での存在感を高めていると感じられる。
- ・教育改革に関して地域が希望する人材を供給する大学院改革を推進している。
- ・産学共創、大学経営改革に関して、SDGs大学経営を発展させ、地方分散型社会をけん引する取り組みを推進している。また研究力向上に関して、世界的学術拠点形成事業（RECTORプログラム）の本格始動、若手研究者支援等による研究力強化への取り組みを推進している。
- ・年度当初示された数値目標をすべて上回る実績を上げていると認められる。

以 上